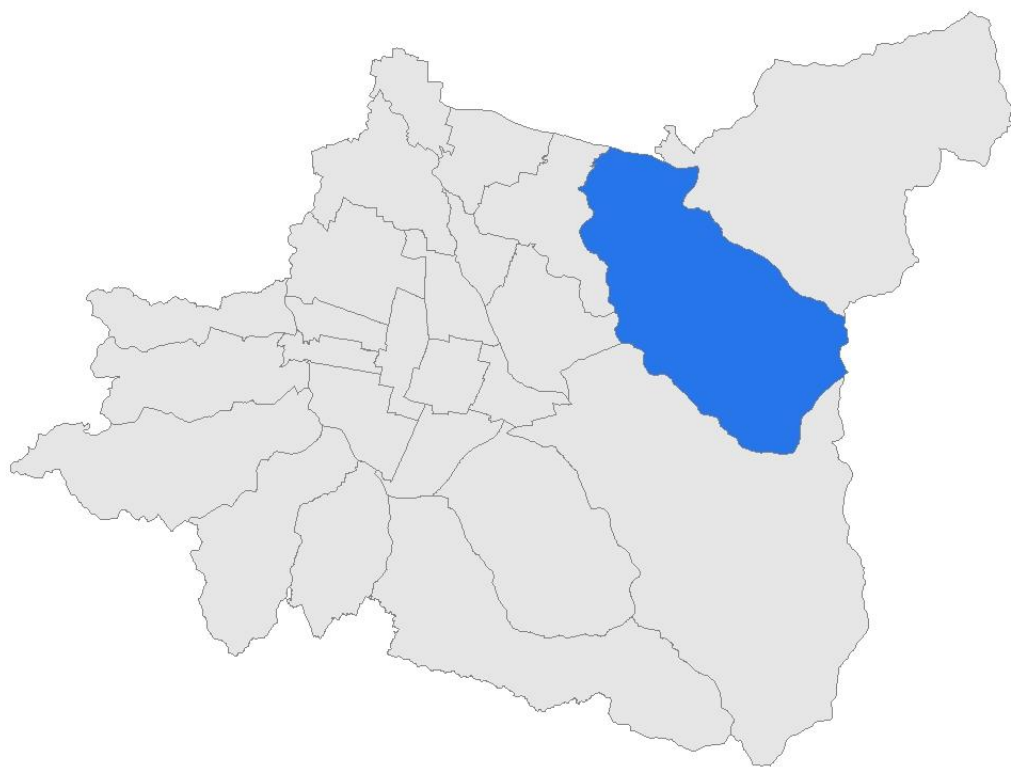


山形市都市計画マスタープラン地域別構想

高瀬地区



山形市

地域別構想の役割

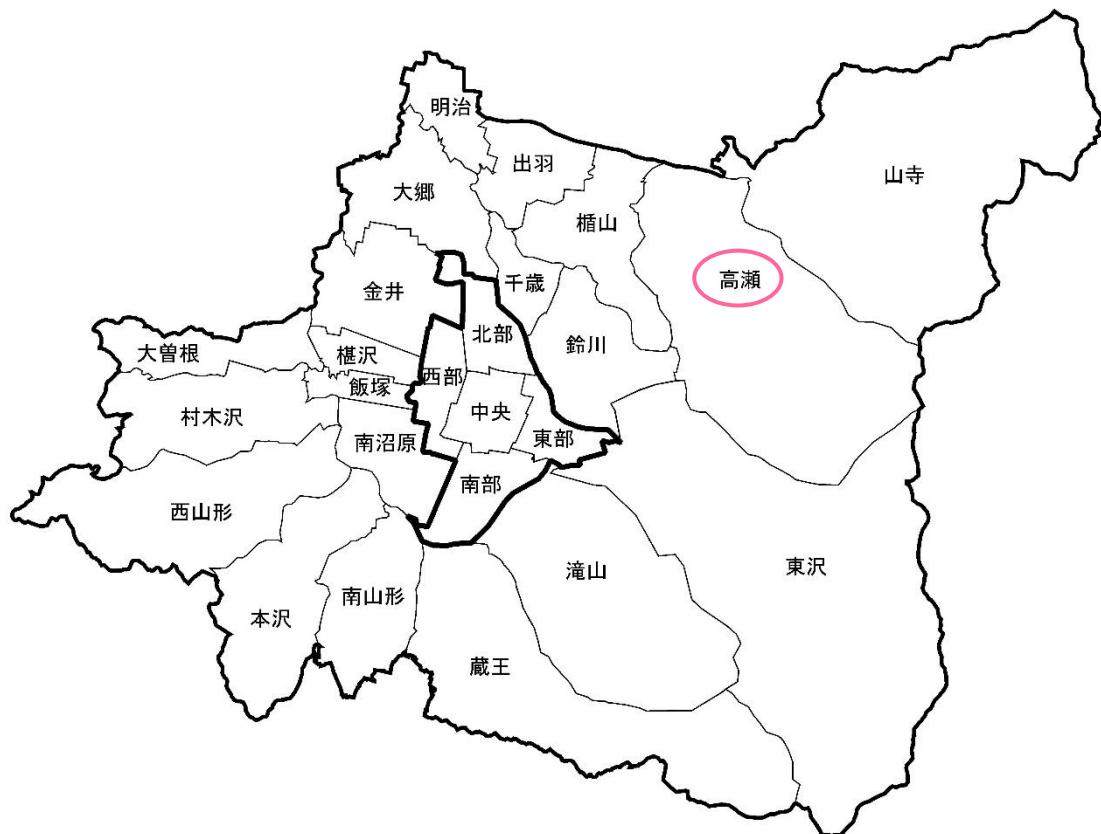
■地域別構想とは

全体構想や分野別構想における各地域の位置づけ等を踏まえ、地域特性や固有の課題に応じた地域ごとのまちづくりの方針を示すものです。

■地域区分の考え方

都心地域については、歴史的な経過や地理的条件、地域特性などから、ある一定のまとまりをもってまちづくりを考える地域として東西南北中央の5つの地域に区分します。

都心地域以外の地域については、旧村単位の地域ごとに地域づくりの拠点としてコミュニティセンターが設置され、それぞれの地域ごとに独自のまちづくり活動を展開していることから、旧村区域により20の地域に区分します。



1 地域の特徴と課題

地域の特徴

◆市の北東部に位置し、豊かな緑と里山の織り成す美しい原風景が残る地域です◆

- ・豊富な緑と里山風景が貴重な財産として残っています。
- ・地域の大半が森林で占められ、清雲寺には県天然記念物“開山杉”、見瀧寺には市天然記念物“しだれ桜”、八幡神社にはけやきが生息しています。
- ・山形県及び山形市の花である“紅花”の生産地であり、地域内には紅花が咲き誇っています。



高瀬地区の里山風景



紅花

◆「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産（Japan Heritage）に認定されています◆

- ・地区の初夏を彩る「紅花畑の景観」と「紅花まつり」が日本遺産のストーリーを構成する重要な構成文化財となっています。

◆郷土の歴史を物語る歴史的資源が多く存在しています◆

- ・三宝岡風立寺といった寺社仏閣などの歴史的資源が多く存在しており、風立寺には市指定有形文化財の“宝篋印塔”があります。
- ・高僧慈覚大師・円仁が腰をおろして休んだという“休石”があり、地名にもなっています。
- ・山形と仙台を結ぶ旧二口街道沿いにあった石碑群が現在の位置に移設され、ありし日の街道の賑わいを偲ぶ貴重な財産となっています。



風立寺



旧二口街道石碑群

◆人口が減少傾向にあり、高齢化が進んでいます◆

- ・人口は、20年間でおよそ15%減少しており、人口の減少傾向が続いています。
- ・人口に占める高齢者の割合は35.9%となっており、20年間でおよそ15%増加しています。市全体の27.1%と比較しても、極めて高い割合となっています。

	高瀬地区				
	総人口(人)	～14歳	15～64歳	65歳～	年齢不詳
平成7年	4,282	645	2,727	910	0
平成27年	3,638	374	1,951	1,307	6
増加数	-644	-271	-776	397	6
	山形市全域				
平成27年	253,832	31,869	151,271	68,745	1,947

◆地域間を結ぶ骨格交通が位置しています◆

- ・JR仙山線が地域を東西に横断し、地域内に位置する高瀬駅は、地域住民の通勤や通学に利用されています。
- ・地域内をコミュニティバス（高瀬線）が運行しており、生活の足として利用されています。
- ・地域間を連携する東部広域環状線が地域を南北に縦断しています。



JR高瀬駅

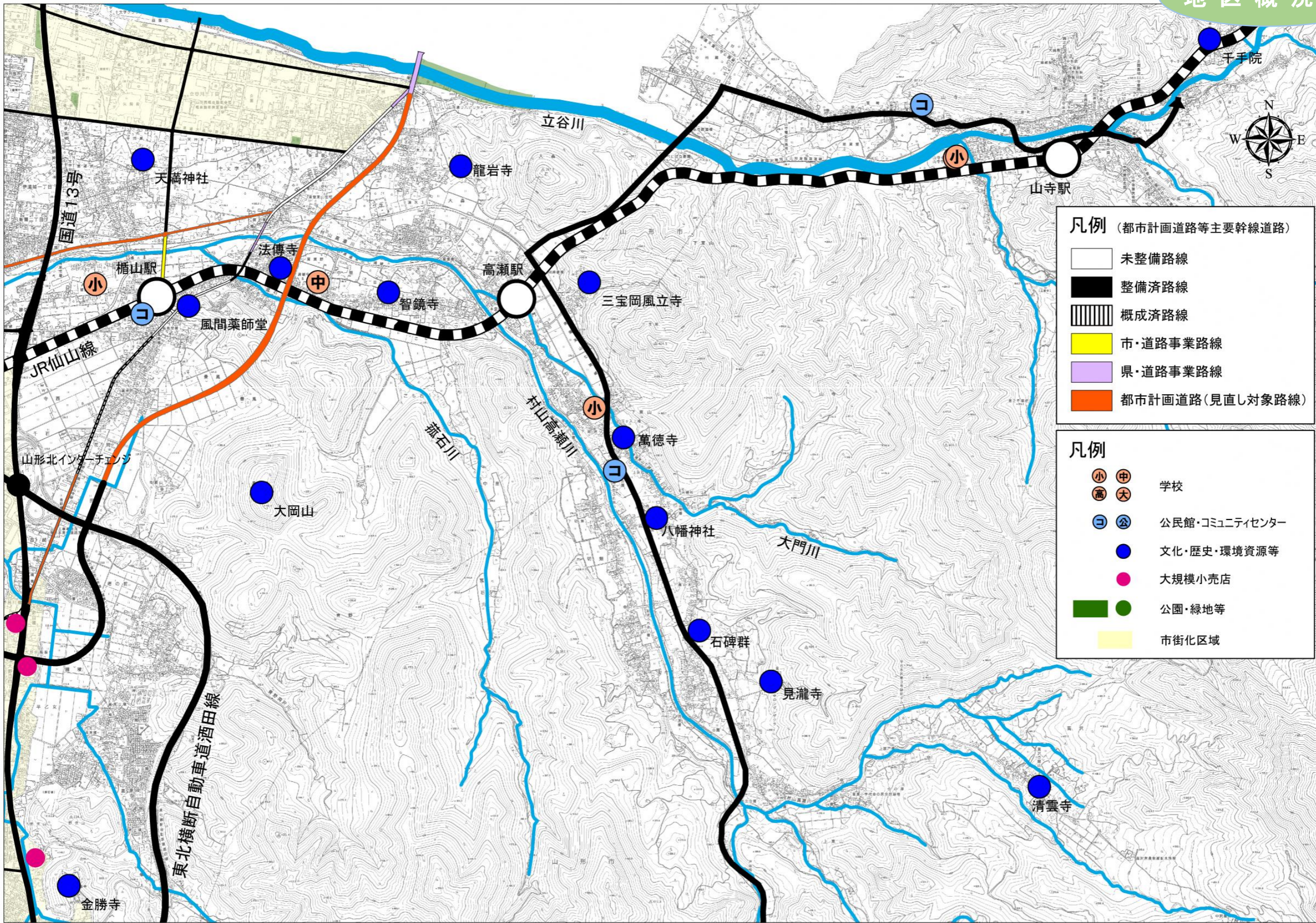
◆生活の利便性の面での住民満足度が低くなっています◆

- ・市民アンケートにおいて、買い物の便利さや通勤・通学のしやすさ、生活利便施設へのアクセスしやすさに対する満足度が低くなっています。
- ・公共交通の利用しやすさに対する満足度が低くなっています。
- ・コミュニティバスについては運行時間が限定されており、利用しにくいとの意見が出されています。

◆地区内に土砂災害のおそれがある区域があります◆

- ・山間の集落地には土砂災害特別警戒区域または警戒区域に指定されている場所があります。

地区概況図



凡例 (都市計画道路等主要幹線道路)

	未整備路線
	整備済路線
	概成済路線
	市・道路事業路線
	県・道路事業路線
	都市計画道路(見直し対象路線)

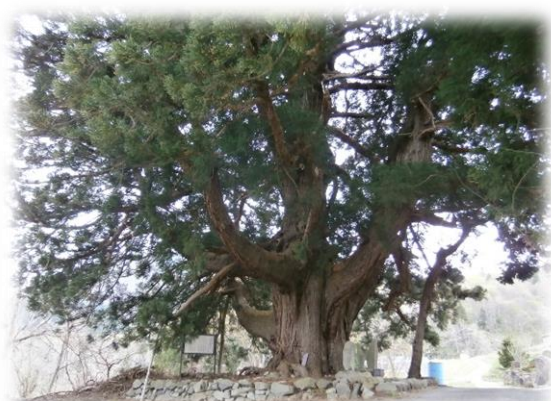
凡例

		学校
		学校
		公民館・コミュニティセンター
		文化・歴史・環境資源等
		大規模小売店
		公園・緑地等
		市街化区域

地域の課題

土地利用に関する課題

- 地区の大半を占める森林は、森林の持つ水源の涵養や地球温暖化の抑制などの公益的機能を踏まえ、適切に維持・保全を図る必要があります。
- 良好な集落環境や自然に恵まれた地域特性を活かしながら、集落の魅力や活力の向上を図る必要があります。
- 良好な居住環境の維持と生活利便性の確保が必要です。
- 日本遺産の認定を契機に紅花の主要な生産地としての地域ブランドを活かし、山寺地区と連携した体験型の観光・レクリエーションの充実を図ることが必要です。



高沢の開山杉



紅花

交通に関する課題

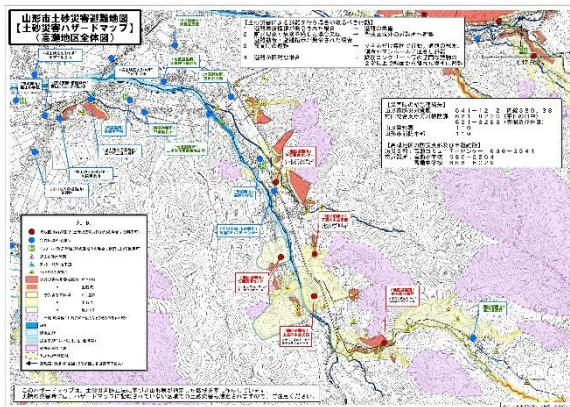
- 公共交通の利便性の向上（コミュニティバス、仙山線の使いやすさの向上）を図る必要があります。
- コミュニティバスの利用者は減少傾向にあり、維持するためには、さらなる利用促進を図る必要があります。
- 国道13号をはじめとした幹線道路へのアクセス性の向上（漆山船町線延伸）を図る必要があります。



コミュニティバス高瀬線停留所

その他まちづくりに関する課題

- ・山間の集落地が土砂災害警戒区域に指定されていることから、被害を抑制するための防災・減災対策が必要となっています。
- ・地区内を流れる村山高瀬川は、そのうるおいのある河川空間を活かした憩いの場として有効活用を図る必要があります。
- ・都市計画マスタープラン地域別構想の策定を住民が地域を深く理解する契機とし、住民主体の積極的なまちづくり活動を促進するとともに、これを行政が積極的に支援する仕組みづくりが必要です。



土砂災害ハザードマップ



高瀬川のこいのぼり
(村山高瀬川)

地域の声（意見交換での意見や地域の要望など）

【土地利用】

- ・里山の自然の風景は地域の財産であり、現在の環境を大事にしながら定住人口を確保していけるような仕組みが必要とされています。
- ・市道東部広域環状線沿いについて、優良農地を保全しながら利便性向上が図れるような新たな土地利用に対する意見が出されています。
- ・地域の人口を維持するため、住宅建築などに関する規制緩和や雇用の場の確保に対する要望があります。
- ・地域住民が集える拠点として、文化・福祉・レクリエーションなどの用に供することのできる複合施設の整備を求める声があります。

【交通】

- ・J R 仙山線の高瀬駅が位置していますが、地域の活性化を図る上で高瀬駅に停車する電車の本数が少ないとの意見が出されています。

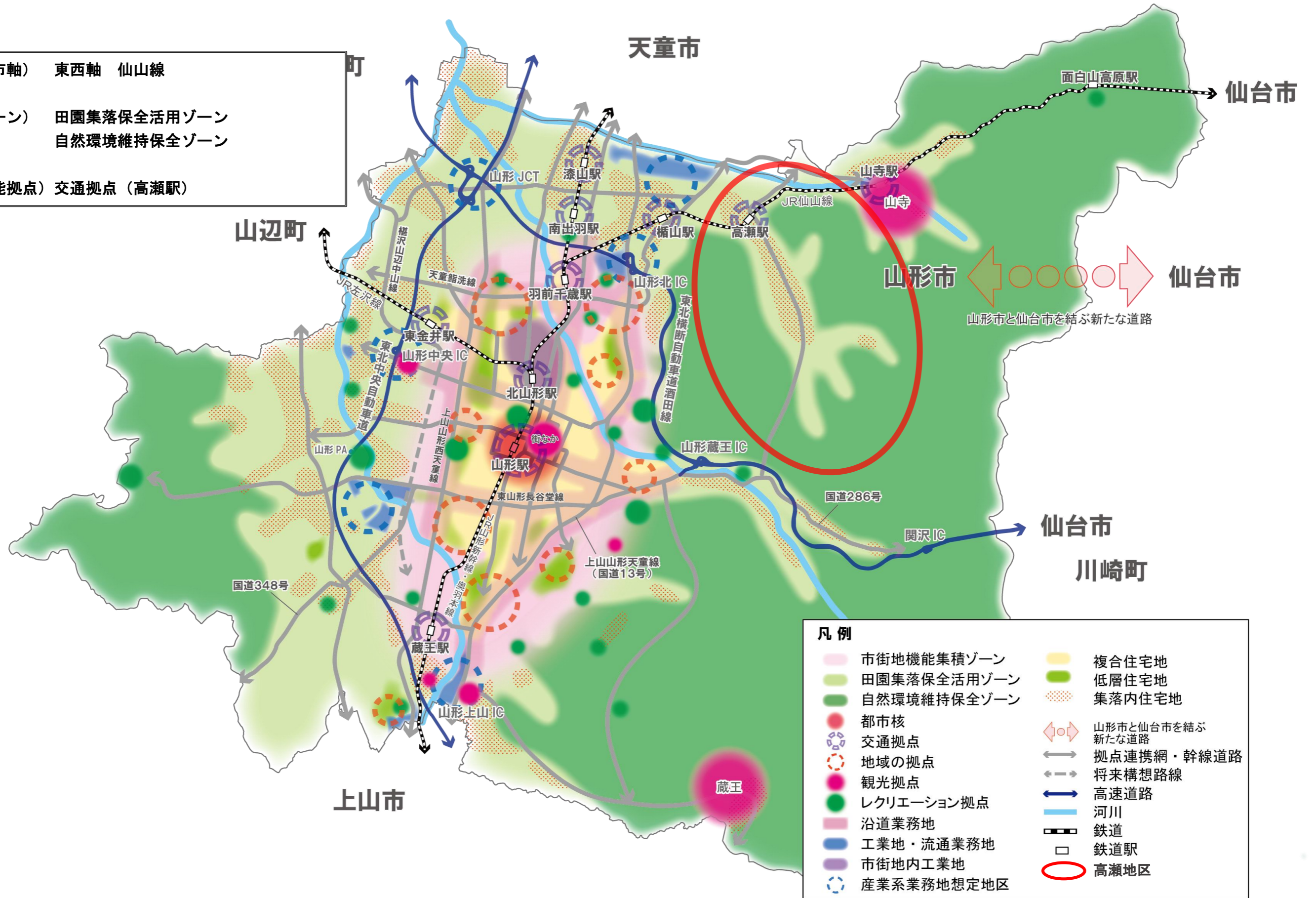
【その他まちづくり】

- ・有害鳥獣による農業被害が頻発していることから、更なる対策強化が望まれています。

2 全体構想及び分野別構想における地区の位置づけ

土地利用構想図

- (都市軸) 東西軸 仙山線
- (ゾーン) 田園集落保全活用ゾーン
自然環境維持保全ゾーン
- (機能拠点) 交通拠点 (高瀬駅)



3 まちづくりの基本方針

良好な集落環境や自然に恵まれた地域特性を活かした

地域活性化と暮らしやすい地域づくり

土地利用に関する方針

- 集落地区の定住環境の創出による定住化と活性化を図ります。
 - ・開発許可制度の見直し等による適地への居住誘導
 - ・日常生活に必要な機能の充足と確保による生活利便性の向上
 - ・空き家バンクや住宅リフォーム支援などによる空き家対策と移住者向け住環境の整備
 - ・新規就業者（新たな産業団地等）の居住地としての検討
- 日本遺産「山寺が支えた紅花文化」の構成文化財である「紅花畑の景観」や「紅花まつり」などの地域資源を保全・活用し、観光地としてのブランド力向上を図ります。
- 公益的機能を有する森林や農地などの豊かな自然環境は適切に保全しながら、体験型の観光・レクリエーションの場としての適切な活用を図ります。

交通に関する方針

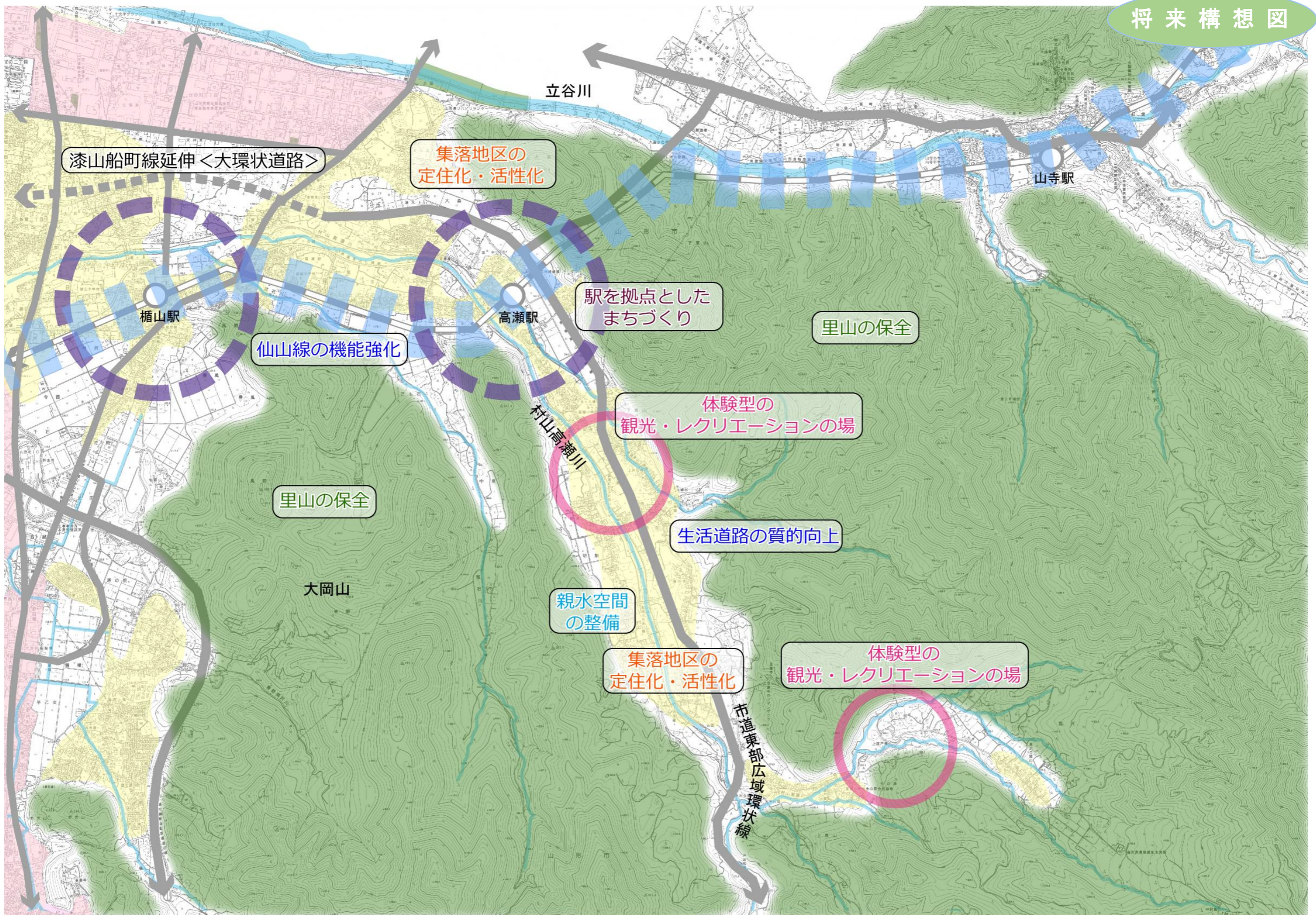
- 鉄道やバスなどの公共交通を活用した生活利便性の確保を図ります。
 - ・市民、交通事業者、行政が連携した地域の特性に応じた生活の足の確保
 - ・地域住民のニーズを踏まえたコミュニティバスの再編
 - ・仙山線の鉄道利用環境の向上
- 山形市と仙台市を結ぶ新たな道路整備を見据えたまちづくりを進めます。
 - ・広域的な幹線道路である国道13号と地域を結ぶ幹線道路の強化
(漆山船町線延伸<大環状道路>)
 - ・山形市と仙台市を結ぶ新たな道路の軸となる山寺地区との連携強化

- **良好な居住環境の確保に向け、生活道路の質的向上を図ります。**
 - ・ 狭隘な集落内道路の部分改良による、日常生活の利便性及び安全性の確保
 - ・ 冬期間における適正な除排雪による安全な通行の確保
- **観光・レクリエーションに対応した交通環境の整備を図ります。**

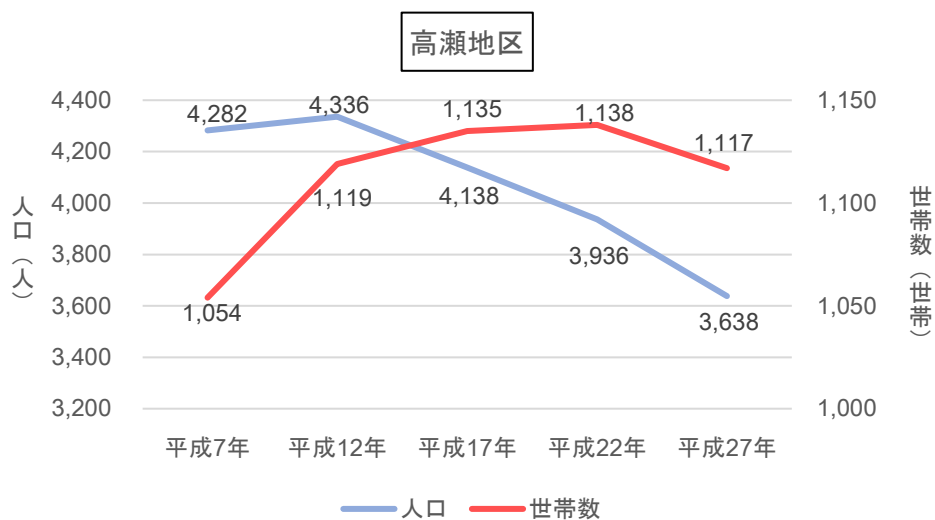
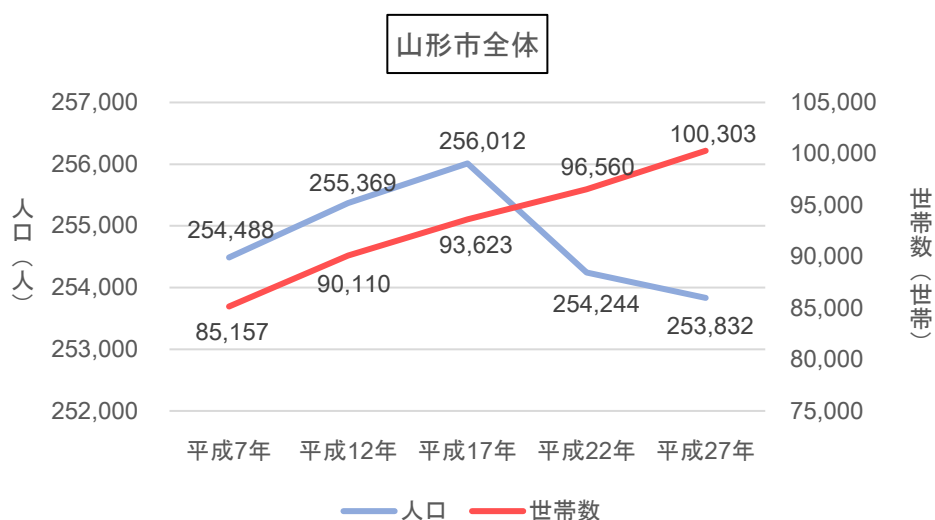
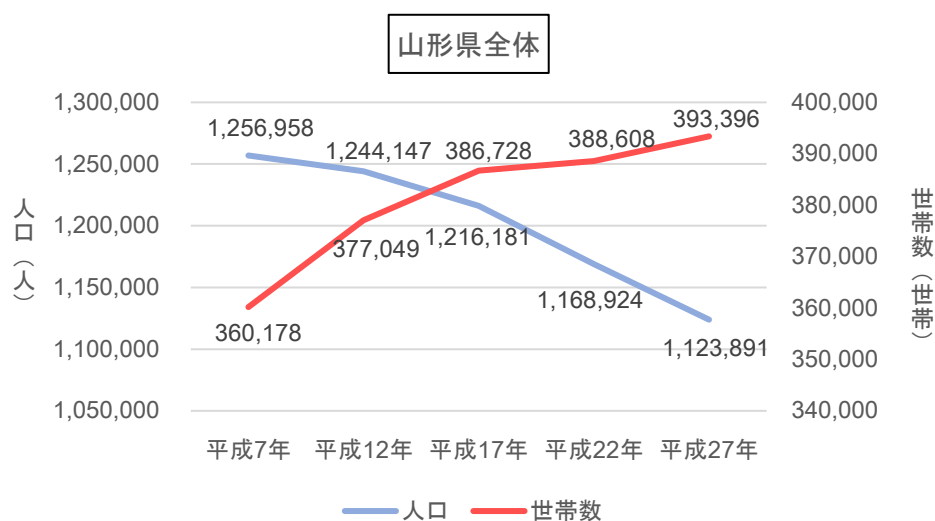
その他まちづくりに関する方針



- **ハード・ソフト両面から防災・減災対策による、災害発生に備えた、災害に強いまちづくりを進めます。**
 - ・ 河川改修や砂防事業の促進による減災対策
 - ・ がけ地等急傾斜地の崩壊を防止するための防災対策
 - ・ 住民へのハザードマップの普及・周知
 - ・ 災害発生時の迅速かつ適切な避難に向けた防災意識の高揚・啓発
- **村山高瀬川の自然豊かな河川空間を、市民がふれあえる親水空間として、より一層の保全・活用を図ります。**
- **里山の原風景を保全し、映画ロケ地やエキストラ参加などによる地域おこしを考えます。**
- **地域別構想の実現に向けた効率的かつ効果的なまちづくりを進めるため、地域の自主的なまちづくり活動に対する支援を図ります。**
 - ・ まちづくりに関する専門家の紹介や派遣、情報提供
 - ・ 地域のまちづくり活動に対する市職員の積極的な派遣と活動支援



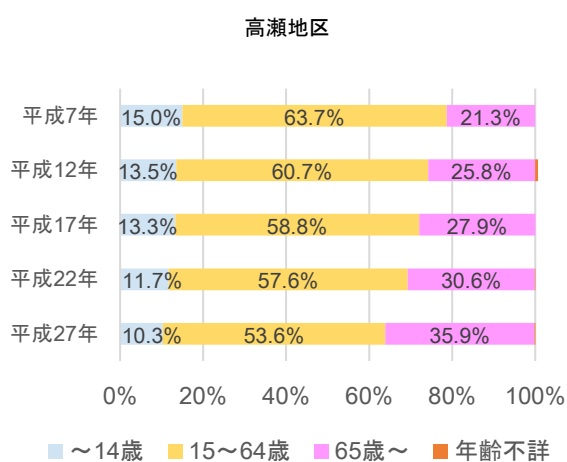
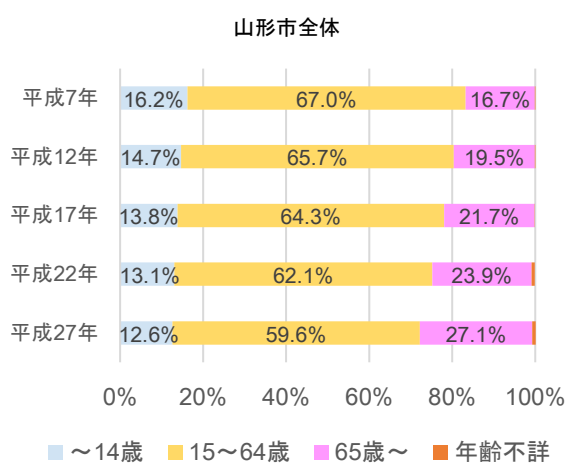
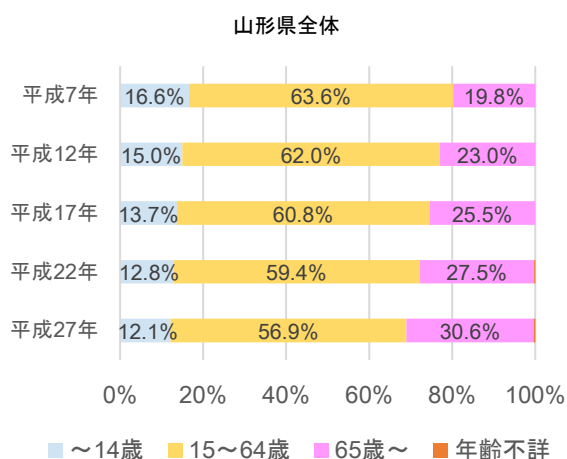
① 人口・世帯数



出典：国勢調査

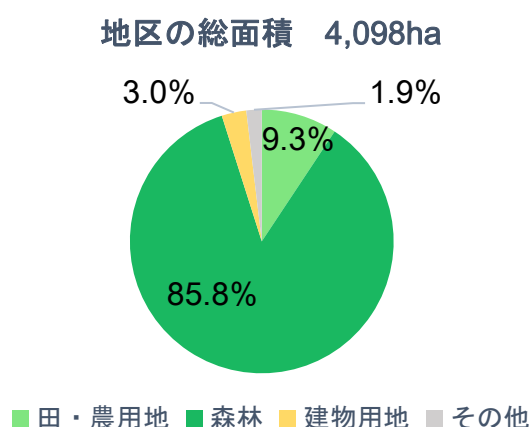
【地域データ】

② 年齢構成比



出典：国勢調査

③ 土地利用割合 (H26)



出典：国土数値情報（土地利用細分メッシュ）

④ 産業別就業者数

(単位) 人

	平成7年	平成17年	平成27年
第1次	375	265	161
第2次	866	648	479
第3次	1,032	1,124	995
分類不能	1	38	69

出典：国勢調査

⑤ 産業別事業所数・従業員数

		平成18年	平成24年
事業所数 (件)	第1次	0	1
	第2次	36	32
	第3次	91	88
		平成18年	平成24年
従業員数 (人)	第1次	0	6
	第2次	157	137
	第3次	394	457

出典：事務所・企業統計(H18)、経済センサス(H24)

⑥ 商店数

	平成9年	平成26年
商店数(店)	37	28
店舗面積(m ²)	1,038	655

出典：商業統計

高瀬地区

【地域データ】

⑦ 居住住宅種類

(単位) 戸

	平成7年	平成17年	平成27年
持ち家	964	992	968
公営住宅	58	97	108
民営借家	22	33	27
給与住宅	3	4	0
間借り	3	6	1
住宅以外	3	1	9

出典：国勢調査

⑧ 道路

国道	県道	その他	合計
0.0km	3.8km	34.6km	38.4km

出典：DRM (H28) のGISによる図上計測

⑨ 都市計画道路の整備状況 (H29.4.1現在)

整備済延長	事業中延長	未整備延長	計画延長
0.6km (21.7%)	0.3km (9.9%)	2.0km (68.4%)	2.9km

※整備済延長には概成済及び暫定2車線供用済路線を含む

※()内は計画延長に対する割合

出典：GISによる図上計測

⑬ 新築動向 (H24~28)

	専用住宅	その他住宅	商業施設	工場・倉庫	宿泊施設	娯楽施設	病院
戸数 (戸)	33	3	4	14	0	0	0
面積 (㎡)	4,259.9	450.1	7,598.4	1,728.1	0	0	0

出典：山形市資料

⑩ 公園・緑地 (H29.4.1現在)

都市計画 決定箇所	都市計画 決定面積 (ha)	開設箇所	開設面積 (ha)	㎡/人
1	7.5	1	1.02	2.8

出典：山形市資料

⑪ 農地転用 (H24~28)

田		畑	
件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
1	1,060	7	4,776

出典：山形市資料

⑫ 開発許可申請状況 (H24~28)

市街化区域		市街化調整区域	
件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
0	0	11	6,941

出典：山形市資料

【地域データ】

⑭ 公共公益施設

小学校	高瀬小学校
中学校	高楯中学校
高校	
特別支援学校	
大学	
専修学校等	
認定こども園	
認可保育所	高楯保育園
幼稚園	
公官庁等(県・市)	
公民館・コミュニティセンター	高瀬コミュニティセンター
文化施設	
高齢者福祉施設	(特別養護老人ホーム) サンシャイン大森、ベにはなノ杜 (地域包括支援センター) 地域包括支援センター大森
その他の福祉施設	(障害者支援施設) 山形県リハビリセンター
スポーツ・レクリエーション施設	
病院	
警察署	高瀬駐在所
消防署	